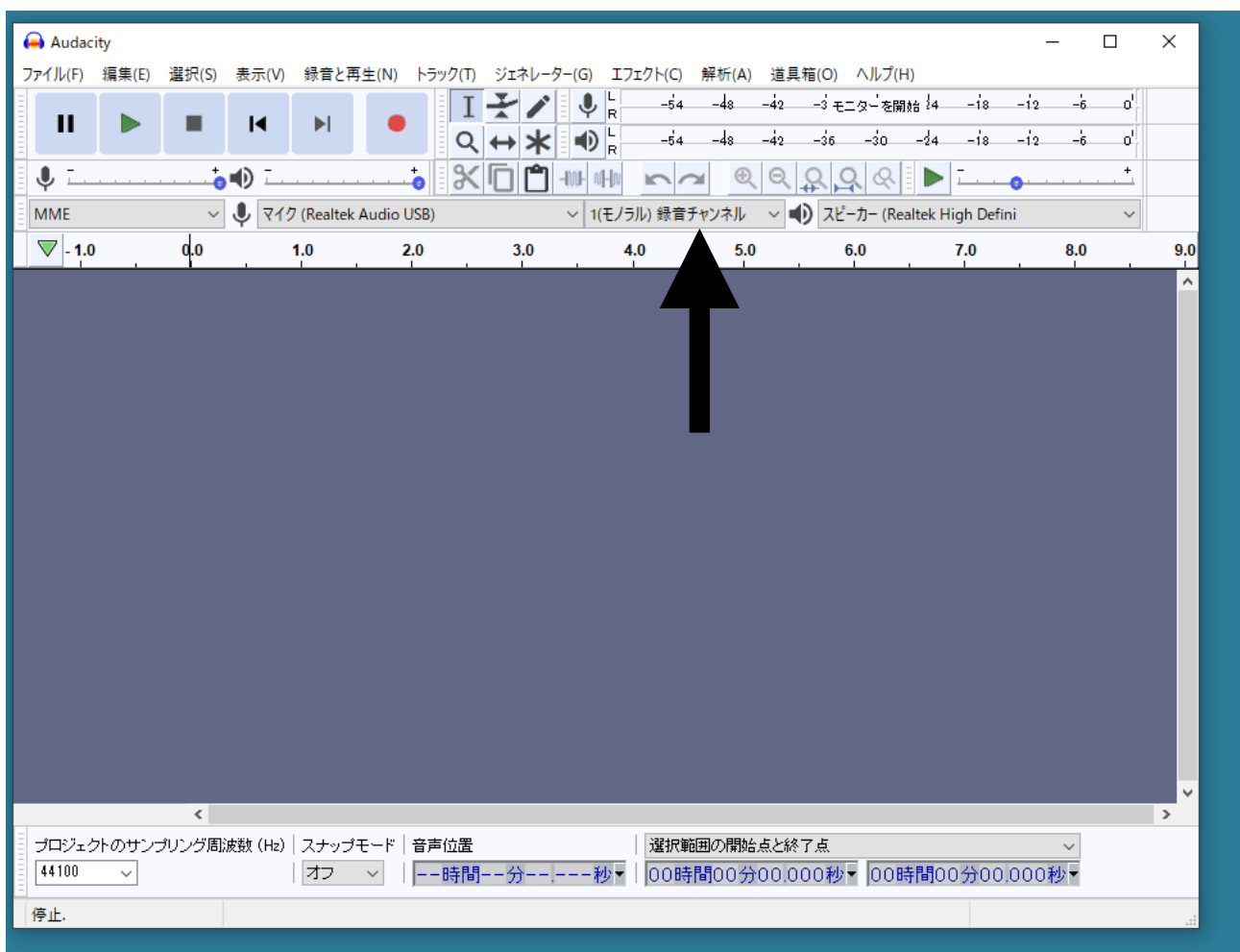


音声ファイルの作成方法

Audacity という無料ソフトを使います。Windows 用は以下のページからダウンロードできます。

<https://www.audacityteam.org/download/windows/>

Audacity 2.3.3 installer というのをダウンロードして、実行すれば、ソフトがパソコンに入ります。ソフトを立ち上げると、以下のような画面が開くはずですが、

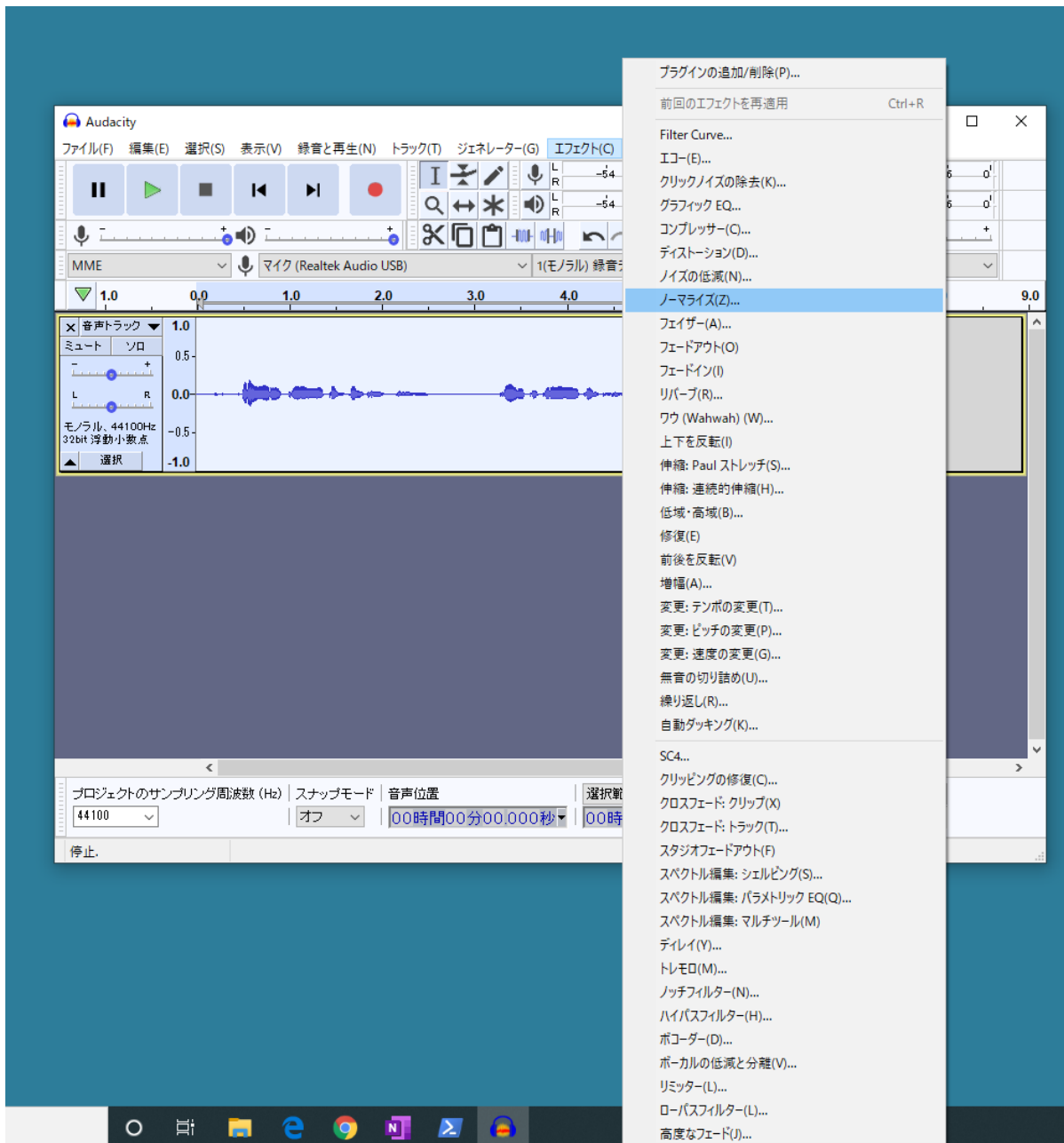


赤丸をクリックすると録音が始まります（音声の場合は、ステレオである必要はないので、モノラルに設定しておくといいでしょう。あとは特に設定など必要ないはず）

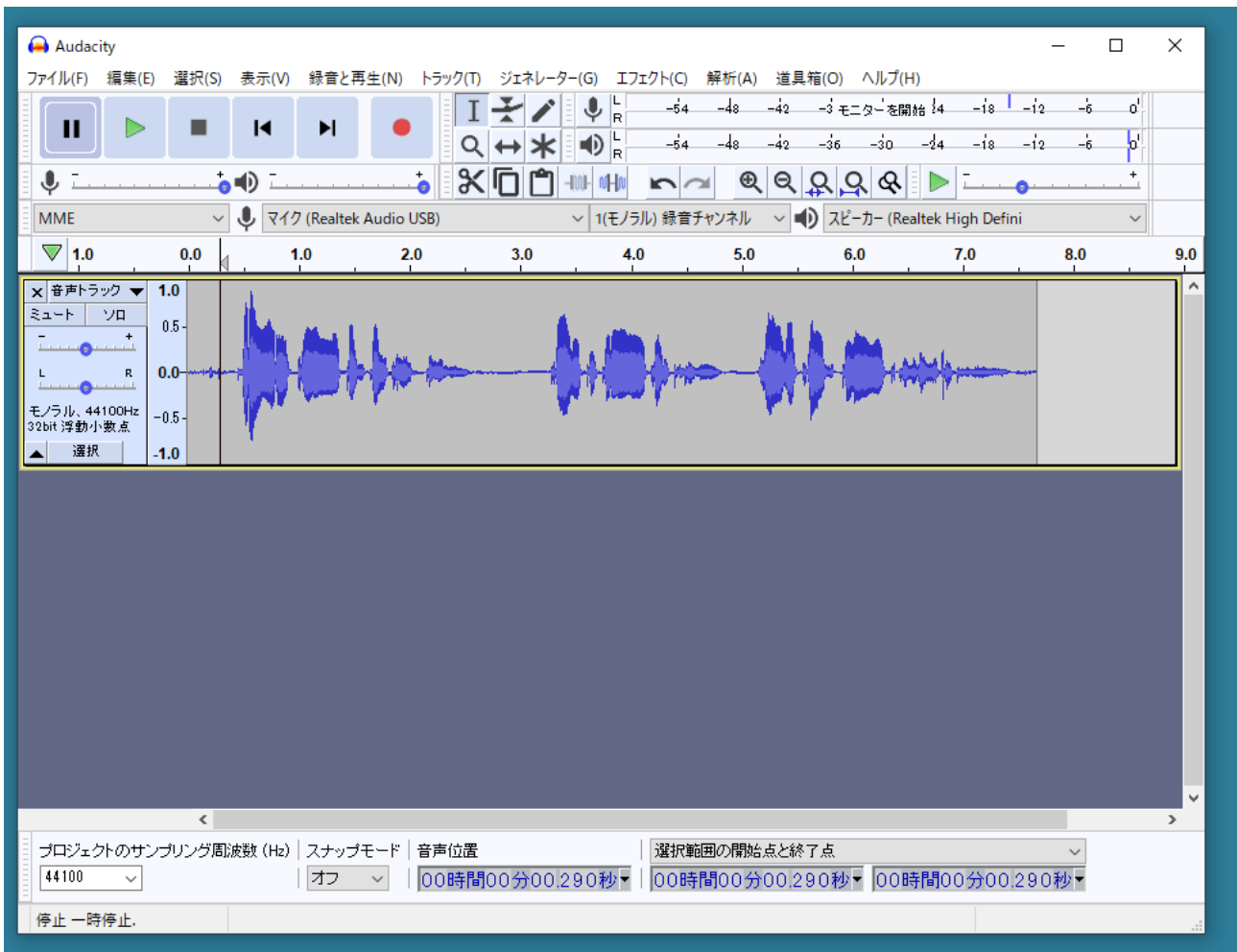
■のストップボタンを押せば、録音は終了します。

そのあとで、波形が表示されているところをクリックしてから、メニューの「選択(S)」で「すべて(A)」をえらんで、音声全体を選択します。

続いて、メニューの「エフェクト(C)」をクリックして、「ノーマライズ」を選びます、

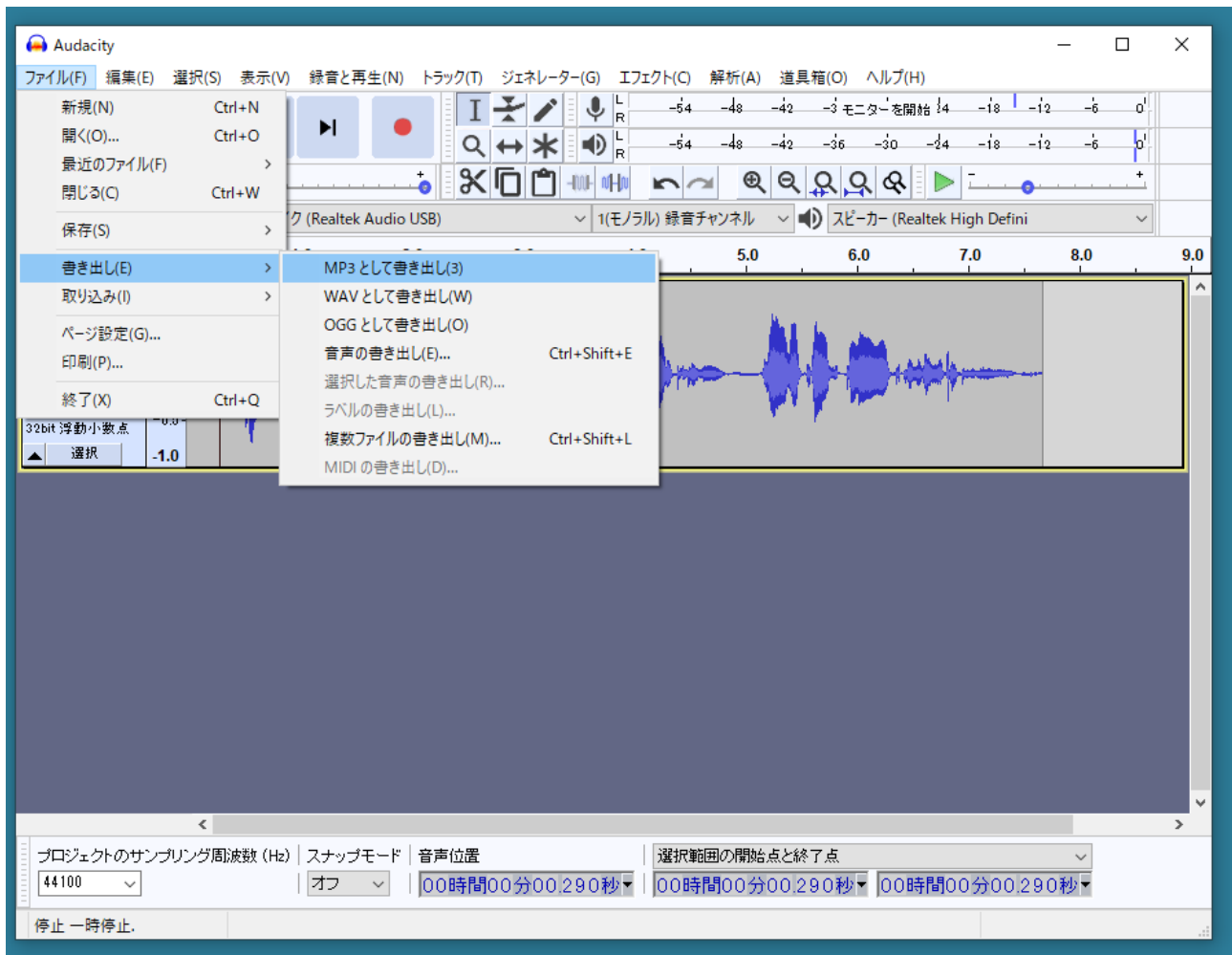


そうすると、次の画面のように、音の強弱（波の大きさ）が強調されたものにかわります。

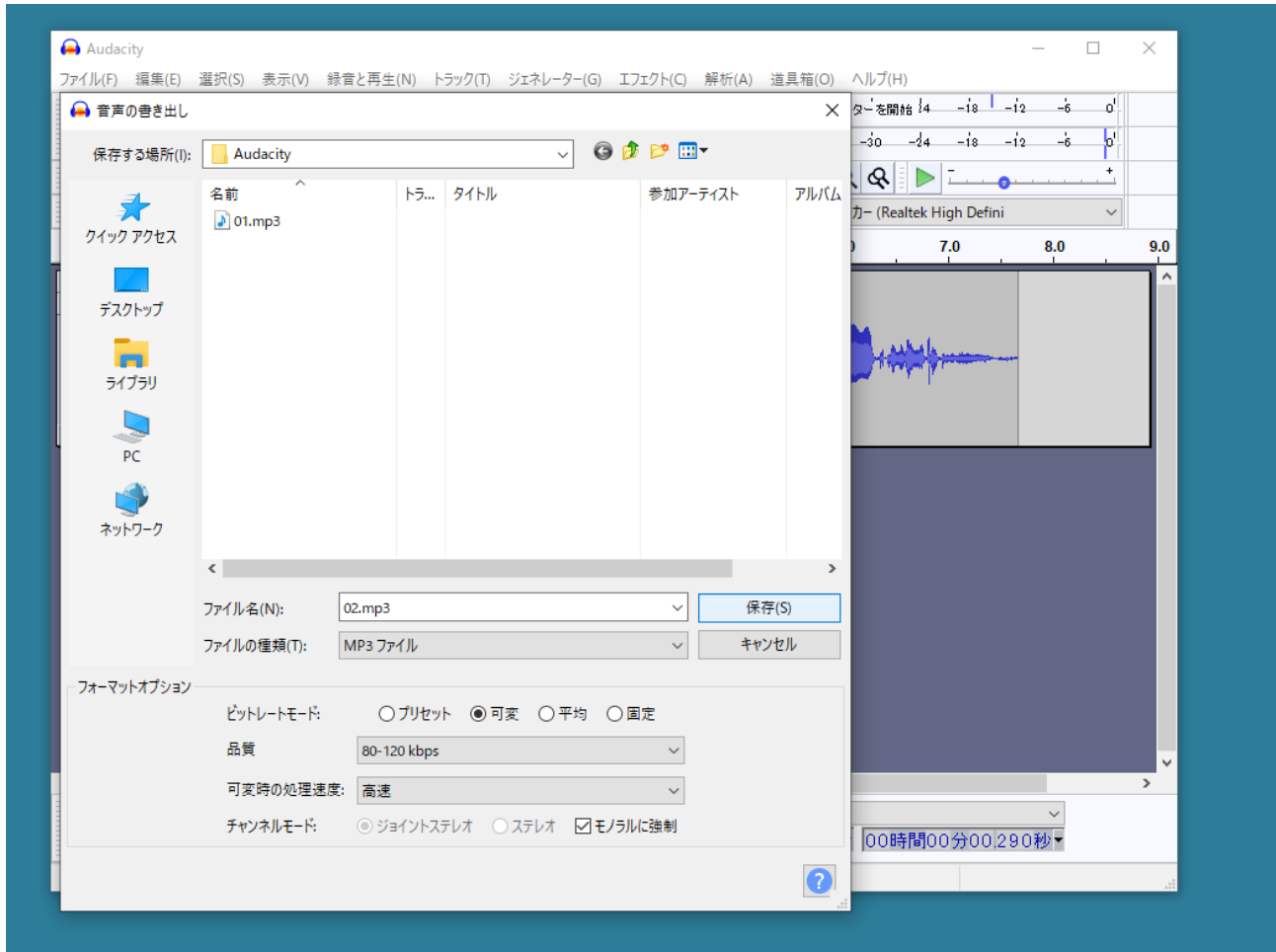


この状態で再生してもらえば、音が大きくなっていることがわかると思います。これをファイルとして保存します。

「ファイル(F)」メニューの「書き出し(E)」を選ぶと出てくる、右側のサブメニューの中から、一番上の「MP3 として書き出し(3)」を選びます。

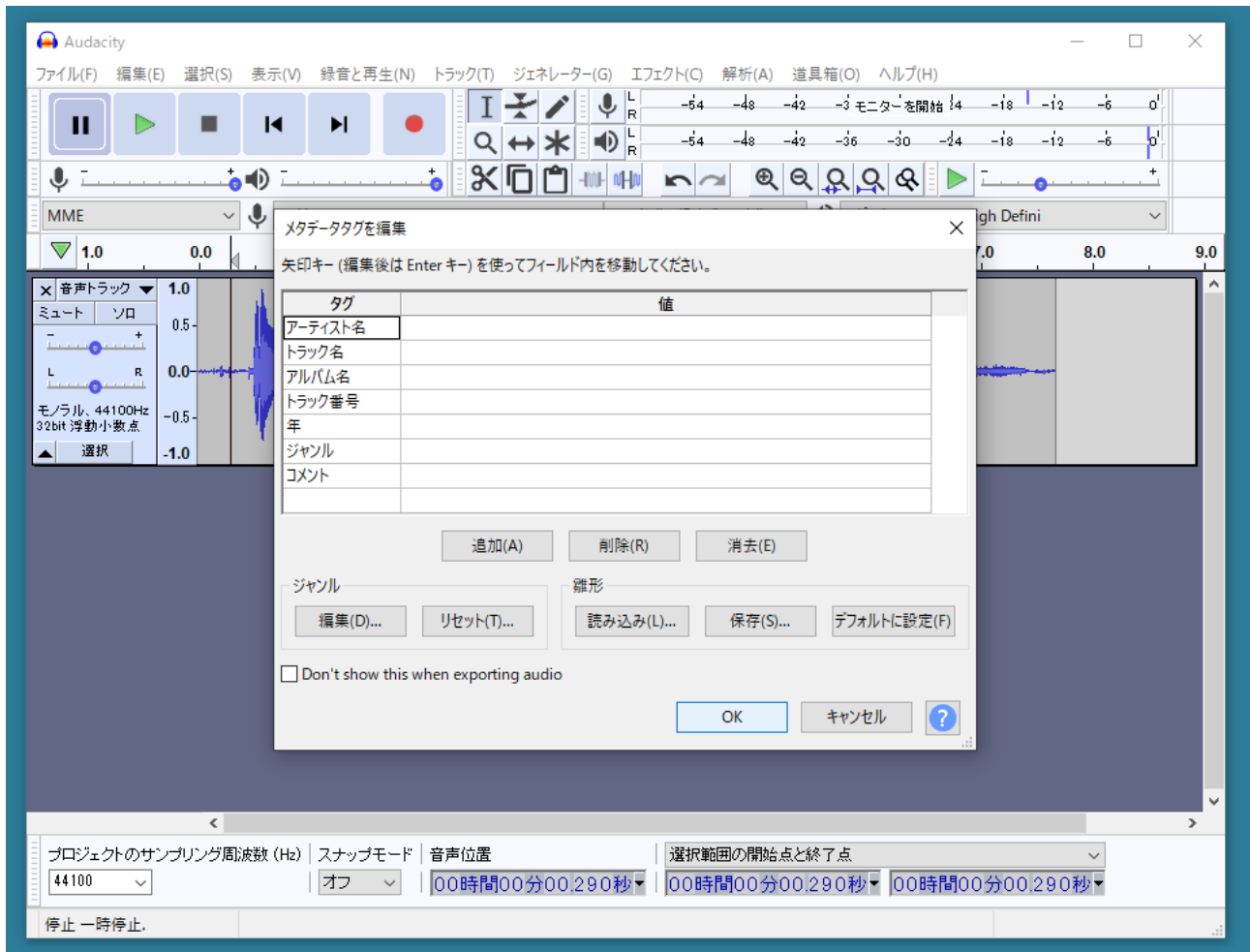


保存用の画面の下の方に、音質などを設定する部分があります。



上図のようにビットレートは「可変」、品質は「80-120k」、可変時の処理速度は「高速」、チャンネルモードは「モノラルに強制」にしてみると、比較的聞きやすい、サイズの小さな音声ファイルになります。

「保存」をクリックすると以下のようなウィンドウが出てきます。



これは、音楽用のファイルに、演奏者などの情報を追加するものなので、無視して、OKでかまいません